

第6次秋田市社会教育中期計画（原案）に対して寄せられた意見一覧（パブコメ）

●第2章 現状と課題

No.	該当ページ	意見	意見に対する市の考え
1	6～11	現計画（第5次）で施策の展開（P15～P17）及び取組を評価する指標（例示）（P19）が記載されているが、これらに対する計画期間中の具体的な現状（数値など）、評価、課題が記載されていないため、原案（第6次）で記載されている「第5次計画の評価と課題」及び「世代別施策の現状と課題」が適切かどうか分からない。原案（第6次）では、計画期間中の具体的な実績に基づいて評価されるようになってきているので、今後の施策の展開と適正な評価、そして社会教育の充実に期待しています。	現計画期間中は、毎年度社会教育事業の点検評価を行い、具体的に現状と課題を把握し、次年度における取組の改善に努めております。本計画では、評価体系に基づき毎年度評価し、社会教育の充実に努めてまいります。
2	8	乳幼児教育 コミュニティに入っていきるのが、おっくうでない人は、情報を自らひろって、外に向かうと思う。受け身の方の方が多いと思うので、小さな学びからステップアップしていけるような段階をふめるように計画する必要があるのではないのでしょうか。	いただいたご意見のとおり、子育てに関する情報提供や、気軽に参加できる学習環境の充実に引き続き努めてまいります。

●第3章 目標、基本方針、計画体系および評価体系

No.	該当ページ	意見	意見に対する市の考え
1	14	学習機会の充実のため、市民自らが学んだことを更に深めるまたは社会に還元するための施策を充実させる具体的なものがあれば良いと思う。例えば、県で言うところの「出前講座」のようなものの一覧や市民講師の一覧などを作成し、公開するなどの事業。 すでにあるのかもしれないが、市民には知られていない。	学習者が講師やボランティアとして活動するなど、学習成果を社会へ還元できる取組に努めております。また、「生涯学習講師団名簿」への登録を推奨し、ホームページで公開しております。引き続き、学習を希望する方へ必要な情報が届き、学習活動につながるよう、SNSを活用するなど、様々な媒体を通じて情報提供に努めてまいります。
2	14	ライフステージに応じた学習機会の充実と情報発信はセットで効果を発揮するものです。能動的に情報をキャッチするのは難しいので、出来れば幼稚園、保育園、学校から情報を流していただければ必ず一読するはずですが、ただ、教育現場にいる教諭等にしてみれば業務が増え忘れがちになる現状があると推察されますので、こうした課題を乗り越えていただくと充実したものになると思います。	学習情報を提供する取組として、参考とさせていただきます。

●計画全般について

No.	該当ページ	意見	意見に対する市の考え
1	-	<p>私は、これまでの教育として、学校、家庭及び地域の教育力により、子供たちへの教育は支えられてきた考える一人ではありますが、その3つの教育のバランスが崩れているのが今の教育現場での困難さを招いていると思います。</p> <p>多くの子供の親たちは、家庭教育で行われているはずの基本的な生活習慣や躰を学校に押し付ける風潮が顕在化し、これまで地域にいたはずの頑固おやじや怖いオジサンも姿を消し（下手に口を出すと「うちの子に何をやるんですか」と逆怒りされるため。又はタクシーの順番待ちで注意するとナイフで刺される。）、すべての教育を学校に任せきりして、親たちは、PTAの役員就任にも協力しない状況が、現在の教育の現状と思います。</p> <p>まずは、これまでの3つの教育の力を、どこで何を担っていくのかを整理して、それを実行するための具体的な手法を、学校、家庭及び地域で考え直し、具現化していく作業が必要と考えます。</p> <p>また、親たちによるPTAの存続が困難になっているのであれば、PTAがこれまでになってきた具体的な作業を、公費による嘱託職員の採用により、教員への負担軽減を図っていくことも必要と考えております。</p>	<p>学校・家庭・地域の連携を強化し、教育力の向上に努めてまいります。PTA活動については、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	-	<p>教育こそ、秋田県、秋田市最大の強みであり課題です。当面の目標は「大学進学」ではないでしょうか？</p> <p>全国学力テストでは小・中生は優秀ですが、大学入学では35番前後です。</p> <p>中高一貫校も少なく、部活ばかり・・・</p> <p>そんな状況では教育がよくなるはずがありません。</p> <p>現実を分析した計画にしてほしいです。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
3	-	<p>少子化が進む中で、子供に手をかけ過ぎるために個性ある自立心が失われる怖さがある。</p> <p>環境を整えている、何かを提供しているという与える側の独りよがりにならないように学ぶ側が本来の意味で実感出来るような工夫が大切である。</p> <p>この事は、どの年齢層においても基本的に共通している部分であると思う。</p> <p>一方、現代社会において怖いのは、デジタルとかITが先行されるために、人間の五感が退化していくことが懸念される。</p> <p>人間本来の機能が備わっているからこそ健康で生き生きと永らえるので、社会教育の基本に常に据えられることが最も大切であると考えます。</p>	<p>各種講座や学級等の参加者に対し満足度調査を実施し、受講者の満足度を高めるよう、事業内容の改善と充実に努めております。</p> <p>また、ICTなどの活用により、新しい学びとこれまでの対面による学びを効果的に組み合わせることが可能となり、多様な交流や人と人とのつながりが広がることで、社会教育の推進が一層図られるよう努めてまいります。</p>
4	-	<p>全部読ませていただきました。よくまとめられていると思います。</p>	<p>案に賛同いただけるご意見として承りました。</p>